



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月8日

上場会社名 株式会社イルグルム 上場取引所 東
コード番号 3690 URL https://www.yrglm.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員CEO (氏名) 岩田 進
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CAO (氏名) 栢木 秀樹 TEL 06(4795)7500
四半期報告書提出予定日 2024年5月9日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	1,851	2.2	106	△49.2	107	△49.5	52	△59.8
2023年9月期第2四半期	1,812	14.6	210	19.2	212	20.7	131	25.5

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 53百万円 (△60.4%) 2023年9月期第2四半期 135百万円 (17.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年9月期第2四半期	円 銭 8.54	円 銭 —
2023年9月期第2四半期	20.94	20.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年9月期第2四半期	百万円 2,977	百万円 1,905	% 62.7
2023年9月期	3,164	1,983	61.4

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 1,866百万円 2023年9月期 1,943百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年9月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 7.40	円 銭 7.40
2024年9月期	—	0.00			
2024年9月期（予想）			—	7.90	7.90

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めており、配当方針としては期末配当の年1回を基本的な方針と定めております。

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,100	13.1	240	△24.7	230	△30.2	140	△28.9	22.68

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	6,372,415株	2023年9月期	6,372,415株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	204,935株	2023年9月期	84,068株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	6,176,302株	2023年9月期2Q	6,268,002株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴う社会経済活動の正常化が進んだことから、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化によるエネルギー・原材料価格の高騰、世界的な金融引き締め、円安の進行や消費者物価の上昇など、依然として国内外における経済先行きは不透明な状態が続いております。

一方、当社グループが事業を展開している国内のインターネット広告市場については、社会のデジタル化を背景に2023年のインターネット広告費は前年比107.8%の3兆3,330億円（株式会社電通「2023年日本の広告費」）と継続的に高い成長率を維持しており、総広告費に占める割合は45.5%に達しております。

また、当社グループのもう一つの対面市場であるEC市場については、2022年国内BtoC-EC市場規模は前年比109.9%の22.7兆円となりました。分野別では、物販系分野に関して前年比105.4%と伸長しており、物販系分野におけるEC化率についてもBtoC-ECで9.1%（前年比0.3ポイント増）と伸長しております。BtoB-EC市場におけるEC化も37.5%（前年比1.9ポイント増）と増加傾向にあり（いずれも経済産業省「令和4年度電子商取引に関する市場調査報告書」）、国内のEC市場規模拡大は継続しております。

このような事業環境の下、当社グループは、データとテクノロジーによって世界中の企業によるマーケティング活動を支援し、売り手と買い手の幸せをつくる企業を目指して事業展開を行っております。当第2四半期連結累計期間においては、コマース支援事業の売上高の増加により増収となりましたが、利益率の高い主力サービス「アドエビス」の減収、コマース支援事業の利益率が低下し前期比で減益となったこと等により、売上高1,851,715千円（前年同期比2.2%増）、営業利益106,756千円（前年同期比49.2%減）、経常利益107,493千円（前年同期比49.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益52,718千円（前年同期比59.8%減）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間より、事業戦略をより明確に表現するため、セグメント名称を「マーケティングプラットフォーム事業」から「マーケティングDX支援事業」、「商流プラットフォーム事業」から「コマース支援事業」へそれぞれ変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりとなりました。

(マーケティングDX支援事業)

当事業は、インターネットにおける消費者行動を横断的に測定し、マーケティングに活用するためのクラウドサービスを提供する事業であります。当事業では、当期を開始年度とする中期経営方針「VISION2027」の戦略として、広告効果測定におけるクロスセルを強化し、新たなSaaSの提供開始・人的支援サービスの強化後、3つを掛け合わせたクロスセルを強化し、2027年9月期までに過去最高アカウント数を更新することを目指しております。提供しているサービスは広告効果測定プラットフォーム「アドエビス」を主力サービスとし、分析レポート自動作成サービス「アドレポ」を提供する広告代理店向けプラットフォームビジネスやインキュベーション領域として新サービス開発にも取り組んでおります。また、「アドエビス」につきましては、契約アカウント数の拡大を図るため、新たに低単価プランの「Growth Step Program」や、Cookieに依存しないコンバージョンAPIツール「CAPiCO」の提供を開始しました。

当第2四半期連結累計期間においては、コンバージョンAPIツール「CAPiCO」のYahoo!広告のコンバージョンAPI対応等の機能強化を行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,437,716千円（前年同期比3.7%減）、セグメント利益は78,216千円（前年同期比50.4%減）となりました。前年同期との比較においては「アドエビス」の減収により減収減益となりましたが、「Growth Step Program」や「CAPiCO」を軸としてアカウント数の増加に取り組んだ結果、アカウント数については前連結会計年度末から増加となっております。

(コマース支援事業)

当事業は、EC構築のためのオープンプラットフォーム「EC-CUBE」及びEC構築からマーケティング支援までのECソリューションを提供する事業であります。「EC-CUBE」はフリーミアムモデルのオープンソース・パッケージとして提供しており、EC事業者のインフラ整備や売上向上に貢献する一方、「EC-CUBE」と連携する各種サービス（決済代行等）の提供事業者から決済手数料収入を得るというエコシステムを構築しております。また、このオープンソース版「EC-CUBE」を用いたEC構築・運用支援領域にも参入し、従来のプラットフォーム開発からEC構築・運用支援までの垂直統合モデルのビジネスを展開しております。中期経営方針「VISION2027」の戦略として、垂直統合モデルを目指したEC構築・運用領域の更なる売上拡大を軸に、「EC-CUBE Enterprise」の開発着手など収益性の改善を目指しております。

当第2四半期連結累計期間においては、EC-CUBEで構築されるECサイトのセキュリティを強化するため、EC-CUBEのカスタマイズやプラグイン開発におけるセキュアなコーディング基準を定めた「EC-CUBEセキュアコーディングガイド」を公開いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は415,040千円（前年同期比28.6%増）、セグメント利益は25,677千円（前年同期比52.8%減）となりました。EC構築事業の大幅増収により売上は伸長しているものの、利益率の高い決済手数料収入の減収に伴い、セグメント利益については減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,958,562千円となり、前連結会計年度末に比べ142,750千円減少いたしました。これは主に納税や配当金の支払い、自己株式の取得等により現金及び預金が81,762千円減少したことや受取手形及び売掛金が103,632千円減少したことによるものであります。

また、固定資産は1,019,346千円となり、前連結会計年度末に比べ43,908千円減少いたしました。これは主に償却によりソフトウェアが29,318千円、のれんが61,112千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は2,977,909千円となり、前連結会計年度末に比べ186,659千円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は988,414千円となり、前連結会計年度末に比べ29,788千円減少いたしました。これは主に未払金が46,322千円、約定返済により1年内返済予定の長期借入金が38,502千円それぞれ減少したことによるものであります。

また、固定負債は84,007千円となり、前連結会計年度末に比べ79,165千円減少いたしました。これは約定返済により長期借入金が79,165千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,072,421千円となり、前連結会計年度末に比べ108,953千円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,905,488千円となり、前連結会計年度末に比べ77,705千円減少いたしました。これは主に自己株式の増加99,979千円や剰余金の配当46,533千円による利益剰余金の減少等によるものであります。

この結果、自己資本比率は62.7%（前連結会計年度末は61.4%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ80,849千円減少（前年同期は76,748千円増加）し、1,294,482千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローについては、260,678千円の収入（前年同期は356,255千円の収入）となりました。主な増加要因は税金等調整前四半期純利益104,714千円（前年同期は208,197千円）や売上債権の減少102,369千円（前年同期は3,711千円減少）等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローについては、68,709千円の支出（前年同期は99,806千円の支出）になりました。これは主に、自社開発ソフトウェアの計上等の無形固定資産の取得による支出62,628千円（前年同期は79,948千円の支出）によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローについては、272,635千円の支出（前年同期は178,270千円の支出）になりました。これは主に、長期借入金の返済による支出117,667千円（前年同期は133,324千円の支出）、自己株式の取得による支出99,979千円（前年同期は該当なし）及び配当金の支払額46,213千円（前年同期は43,694千円の支出）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年11月6日に発表いたしました通期連結業績予想の前提となる計画に大きな変動は生じていないことから、当該業績予想の修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,451,657	1,369,894
受取手形及び売掛金	520,372	416,740
契約資産	31,496	51,808
仕掛品	2,332	349
前払費用	88,499	108,645
その他	9,043	13,004
貸倒引当金	△2,089	△1,879
流動資産合計	2,101,313	1,958,562
固定資産		
有形固定資産		
建物		
建物	71,305	71,305
減価償却累計額	△51,391	△52,728
建物(純額)	19,913	18,576
工具、器具及び備品		
工具、器具及び備品	233,291	239,085
減価償却累計額	△195,897	△202,374
工具、器具及び備品(純額)	37,394	36,711
有形固定資産合計	57,307	55,287
無形固定資産		
のれん		
のれん	361,824	300,711
ソフトウェア		
ソフトウェア	381,199	351,881
ソフトウェア仮勘定	20,138	32,587
その他	15,446	14,531
無形固定資産合計	778,609	699,712
投資その他の資産		
投資有価証券		
投資有価証券	56,193	52,845
長期前払費用		
長期前払費用	30,158	80,634
繰延税金資産		
繰延税金資産	62,140	51,787
差入保証金		
差入保証金	77,806	78,478
その他	2,487	1,236
貸倒引当金	△1,449	△635
投資その他の資産合計	227,338	264,346
固定資産合計	1,063,254	1,019,346
資産合計	3,164,568	2,977,909

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	29,188	53,001
短期借入金	250,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	243,019	204,517
未払金	306,408	260,086
未払法人税等	39,514	43,523
預り金	62,764	61,500
契約負債	61,730	71,447
賞与引当金	25,367	37,229
受注損失引当金	—	610
株主優待引当金	—	6,331
その他	209	165
流動負債合計	1,018,203	988,414
固定負債		
長期借入金	141,510	62,345
資産除去債務	21,662	21,662
固定負債合計	163,172	84,007
負債合計	1,181,375	1,072,421
純資産の部		
株主資本		
資本金	318,065	318,065
資本剰余金	411,175	400,144
利益剰余金	1,282,821	1,288,356
自己株式	△89,330	△160,827
株主資本合計	1,922,732	1,845,739
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	21,114	20,307
その他の包括利益累計額合計	21,114	20,307
非支配株主持分	39,346	39,441
純資産合計	1,983,193	1,905,488
負債純資産合計	3,164,568	2,977,909

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	1,812,165	1,851,715
売上原価	681,969	795,467
売上総利益	1,130,195	1,056,248
販売費及び一般管理費	919,928	949,491
営業利益	210,266	106,756
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,498	7,713
持分法による投資利益	1,393	807
その他	3,202	259
営業外収益合計	7,094	8,780
営業外費用		
支払利息	2,211	1,802
為替差損	—	321
投資有価証券評価損	2,274	4,154
長期前払費用償却	—	1,302
その他	219	461
営業外費用合計	4,705	8,043
経常利益	212,655	107,493
特別損失		
減損損失	4,458	2,779
特別損失合計	4,458	2,779
税金等調整前四半期純利益	208,197	104,714
法人税、住民税及び事業税	42,912	39,845
法人税等調整額	22,995	10,353
法人税等合計	65,908	50,199
四半期純利益	142,289	54,514
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,011	1,796
親会社株主に帰属する四半期純利益	131,277	52,718

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	142,289	54,514
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△6,560	△806
その他の包括利益合計	△6,560	△806
四半期包括利益	135,728	53,708
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	124,716	51,911
非支配株主に係る四半期包括利益	11,011	1,796

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	208,197	104,714
減価償却費	91,973	85,407
のれん償却額	61,112	61,112
賞与引当金の増減額 (△は減少)	447	11,870
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	911	△1,023
受取利息及び受取配当金	△2,498	△7,713
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	—	6,331
支払利息	2,211	1,802
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	2,148	610
減損損失	4,458	2,779
持分法による投資損益 (△は益)	△1,393	△807
仕入債務の増減額 (△は減少)	17,247	23,813
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,274	4,154
売上債権の増減額 (△は増加)	3,711	102,369
契約資産の増減額 (△は増加)	△53,214	△20,311
契約負債の増減額 (△は減少)	△6,888	9,716
前払費用の増減額 (△は増加)	3,098	△5,514
長期前払費用の増減額 (△は増加)	2,059	△41,063
未払金の増減額 (△は減少)	42,137	△44,107
その他	2,324	△2,943
小計	380,319	291,197
利息及び配当金の受取額	317	5,927
利息の支払額	△2,310	△1,821
法人税等の支払額	△22,070	△34,625
営業活動によるキャッシュ・フロー	356,255	260,678
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△14,459	412
有形固定資産の取得による支出	△9,166	△6,240
無形固定資産の取得による支出	△79,948	△62,628
差入保証金の差入による支出	—	△690
その他	3,769	438
投資活動によるキャッシュ・フロー	△99,806	△68,709
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△133,324	△117,667
自己株式の取得による支出	—	△99,979
配当金の支払額	△43,694	△46,213
非支配株主への配当金の支払額	△1,252	△1,025
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△7,750
財務活動によるキャッシュ・フロー	△178,270	△272,635
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,431	△183
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	76,748	△80,849
現金及び現金同等物の期首残高	1,259,748	1,375,332
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,336,496	1,294,482

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(1) 自己株式の取得

2023年11月6日開催の取締役会決議に基づき、自己株式154,600株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が99,979千円増加しております。

(2) 自己株式の処分

2024年1月19日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式を36,100株処分いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金が4,404千円減少し、自己株式が28,482千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2023年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マーケティング DX支援事業	コマース 支援事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,492,463	319,701	1,812,165	—	1,812,165
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,492,463	319,701	1,812,165	—	1,812,165
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,008	3,120	4,128	△4,128	—
計	1,493,471	322,821	1,816,293	△4,128	1,812,165
セグメント利益	157,534	54,449	211,983	△1,716	210,266

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去4,800千円及びのれん償却額△6,516千円であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「マーケティングDX支援事業」において、アドビスの管理画面リニューアルに伴い一部機能の提供を終了することを決定したことにより、当該機能に係るソフトウェアについて減損処理を行い、減損損失4,458千円を計上しました。

当第2四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マーケティング DX支援事業	コマース 支援事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,436,675	415,040	1,851,715	—	1,851,715
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,436,675	415,040	1,851,715	—	1,851,715
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,040	—	1,040	△1,040	—
計	1,437,716	415,040	1,852,756	△1,040	1,851,715
セグメント利益	78,216	25,677	103,894	2,862	106,756

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去6,120千円及びのれん償却額△3,258千円であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結累計期間より、事業戦略をより明確に表現するため、セグメント名称を「マーケティングプラットフォーム事業」から「マーケティングDX支援事業」、「商流プラットフォーム事業」から「コマース支援事業」へそれぞれ変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、上記の変更を踏まえて作成・記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。